

情報公開文書

研究課題名	BioFire 血液培養パネル2®が感染症治療へ与えるアウトカムの検討
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 薬剤部・感染管理室 氏名 加藤 智之
研究期間	承認日 ～ 令和7年12月31日
研究の意義・目的	世界的な耐性菌の蔓延は我々人類の脅威となっています。2015年にWHOより薬剤耐性菌に対する計画策定が求められたことにより、2016年には日本でも薬剤耐性（AMR, Antimicrobial Resistance）対策アクションプランが決定されました。このアクションプランにおいて、薬剤耐性菌割合の減少や抗菌薬使用量の削減が成果指標とされています。最近保険収載されたBioFire 血液培養パネル2®検査は、従来法に比べ病原体菌種の確定診断が24時間以上早くできることが期待されます。武蔵野赤十字病院では、抗菌薬適正使用支援チーム（AST, Antimicrobial Stewardship Team）が抗菌薬適正使用を推進しています。当院でのASTの活動を検証することにより、院内のみならず地域の感染拡大や感染症治療に対してどのように効果的であったかを医療費効率化の側面も含めて検討させていただきます。この研究は、国策であるAMR対策アクションプランにも寄与できると考えています。
研究の方法 (対象期間含む)	単施設での後方視的調査研究となります。2021年1月1日から2025年12月31日の間に、武蔵野赤十字病院で抗菌薬治療を行い、事前の血液培養検査でグラム陽性菌、 または酵母様真菌 が検出された患者さんです。該当患者さんのカルテから以下の情報を調べさせていただきます。 (対象期間：2021年1月1日～2025年12月31日)
①試料・情報の利用目的及び利用方法 (匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む) ②利用し、又は提供する試料・情報の項目 ③利用するものの範囲 ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称	①臨床情報は匿名化された情報を管理・解析する。他機関への提供は行いません。 ②患者背景に関する情報としては、年齢、性別、感染症名、であり、限定的な個人情報だけを扱うのみです。治療に関する情報として、a)細菌学的検査の提出有無とその内容、および検出菌とその薬剤感受性、b)基礎疾患、c)処方された抗微生物薬名と薬剤費用、用法用量、投与期間、抗微生物薬の選択理由、d)処方診療科、e)治療開始後の転帰、となります。 ③臨床情報の利用は研究責任者、分担研究者、および研究補助者の計16名とします。 ④情報の管理は研究責任者の加藤智之（下記参照）が行います。
問合せ先	当研究に自身の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 薬剤部・感染管理室 氏名 加藤 智之 TEL：0422-32-3111（代表）6812（事務局内線）FAX：0422-32-3525